



東陽病院 佐野隆久 外科医師

健康への

メッセージ

シリーズ ④

胆嚢摘出術に腹腔鏡下手術の導入

胆石症や胆嚢ポリープの患者さんに対して、以前は腹部を大きく切開して開腹し、胆嚢を摘出していました。近年の医療機器の進歩は目覚ましく、CCDカメラを使った電子内視鏡やビデオシステムの普及により、小さな切開創で胆嚢を摘出することが可能となりました。

具体的にどのように行うかという点、臍の下に4cm程の切開を加え、トラカールという器具を挿入して、そこから二酸化炭素を注入し気腹(お腹を膨らませる)します。そうすることにより、トラカールを介して挿入した電子内視鏡で、お腹の中を観察することが可能となります。次に、腹部に2cm足らずの小さな切開を3か所加え、そこから手術器具(鉗子、電気メス、クリップ等)を挿入して胆嚢を摘出します。胆嚢を摘り終えるまでの一連の操作は、テレビモニターを見なが



ら行うわけで、手術をする者の手が、お腹の中に触れることはありません。

このような手術法を腹腔鏡下胆嚢摘出術と呼び、今までの開腹手術と比較して、手術後の疼痛や苦痛が軽く、入院期間も少なくて済みます。また、創が小さく美容上も優れています。その方法は、入院期間が短縮されることから、医療費の高い欧米で広く普及し、日本では1990年に第1例目の手術が行われました。その後本邦においても爆発的に普及し現在に至っています。このように、一般に普及してから数年余りの新しい手術法ではありますが、現在では他の臓器を摘出することも可能です。また、自然気胸という肺に穴があく病気の治療法としても一般的に行われています。今後はさらに改良が加えられ、様々な病変の治療法として、腹腔鏡下手術は発展していくものと考えられます。

当院でも、世間のニーズに合わせるべく、今年度これらの機器を導入いたしました。今後は、この腹腔鏡下手術に限らず、新しい治療法を積極的に取り入れ、地域住民の皆様の治療に貢献していきたいと考えて居ります。



なつやすみ ぼくたちのえらんだ本 ベスト 10

- ①エルマーのぼうけん ガネット/作
- ②たんだのたんけん 中川季枝子/作
- ③あおい目のこねこ マチーセン/作
- ④うさぎのおうち こうだのりこ/作
- ⑤みどりいろのたね たかどのほうこ/作
- ⑥はじめてのキャンプ 林明子/作
- ⑦なぞなぞのすきな女の子 松岡享子/作
- ⑧いやいやえん 中川季枝子/作
- ⑨きかんしゃやえもん 阿川弘之/作
- ⑩番ねずみのヤカちゃん ウィルバー/作

夏休みにたくさんのお友だちがよんだ本です。
みんな、なんさつよみましたか?



＝町立図書館＝
☎043311

今月の展示

新刊

きのご狩りに行こう
——きのこの見分け方、料理の本など——

話題コーナー

- 災害の昭和史
——台風・水害・事故など災害を検証する——
- 住まいのリフォームしてみませんか?
——より暮らしやすい住まいにするための本いろいろ——